

平成27年白老町議会総務文教常任委員会会議録

平成27年 2月12日（木曜日）

開 会 午後 1時00分

閉 会 午後 2時10分

○会議に付した事件

所管事務調査

1. 「博物館開館に向けた取り組みと住民自治の取り組み」について
 2. 分科会 報告書について
 3. 委員会協議会の開催について
-

○出席議員（5名）

委 員 長 小 西 秀 延 君

委 員 長 山 田 和 子 君

委 員 吉 田 和 子 君

委 員 齋 藤 征 信 君

委 員 本 間 広 朗 君

○欠席委員（1名）

委 員 前 田 博 之 君

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長 岡 村 幸 男 君

書 記 葉 廣 照 美 君

◎開会の宣告

○委員長（小西秀延君） それでは、ただいまより総務文教常任委員会を開会いたします。
(午後 1時00分)

○委員長（小西秀延君） 本日の調査事項ですが、所管事務調査「博物館開館に向けた取り組みと住民自治の取り組み」その報告書の取りまとめが1件で、もう1件が委員会協議会の開催についてということで（仮称）「白老町保育事業運営計画」（素案）についてということで、こちらのほうは3月定例会中に開催をしていただけないかという希望がきているという2点について、本日協議をさせていただきたいと思います。

まず1番目の所管事務調査「博物館開館に向けた取り組みと住民自治と取り組み」報告書の取りまとめですが前回委員皆様より意見出しをしていただきました。

その前には各課からの現在の状況の進捗状況等の説明を受け、所管事務調査として視察をしたという流れを報告書にまとめさせていただきました。ここで多少時間をとりまして皆さんきょう初めて見る文章になると思いますので、時間を取ってご一読願った上で皆さんからのご意見を拝聴したいと思います。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時01分

再開 午後 1時17分

○委員長（小西秀延君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

皆さんにただ今目を通させていただきました所管事務調査結果報告について、これはあくまで案でありますので皆様からまた再度ご意見をいただき、訂正等、質問等、意見等ありましたら活発なご発言をいただきたいと思います。ご意見のお持ちの方はどうぞ。山田副委員長。

○副委員長（山田和子君） 質問です。最後のページの6ページの1番下から2行目の温泉の利活用というこの温泉についての定義というか、これは全町の温泉というポロト温泉に限らずという意味でよろしいですか。というのが1点と。4ページの委員会からの意見の下から2行目の協議会の運営に対する人材の手当てというのは松坂市のように事務局員を置くという意味の人材でよろしいでしょうか。この2点質問です。

○委員長（小西秀延君） それでは質問の順番ということで、まず6ページなのですが温泉の活用。こちらのほうですが現在のところでは国のほうでは温泉を利活用しないというふうな方針を出しております。ただ町としてはポロト地区の温泉また虎杖浜地区の温泉等全域にわたって、こういう形で温泉の利活用というのも今後も考えていかなければならないと。当然次の項目にもありますがそことも絡みますが、全町的というふうに捉えていただければありがたいと思います。

この文章の一段上になるのですが、周辺の整備だけにとどまっては全町への経済効果が波及しないと意見があると。この流れとして全町的ということで捉えていただければなというふうに考えております。

もう1点ですが、4ページの下から本委員会からの意見の下から2番目、人材の手当てということですが、これは必ずしも松坂市のように各協議会に事務局を置くというようなシステムではなく、その協議会が成り立っていけるような人材の手当て、これはいろいろなものが考えられると思います。その協議会で今いる地域担当職員がそのような役目を担っていくのか、これから考えていく組織の中で一般の方が補っていけるのか、これはさまざまこれからの組織づくりについてそこを考えていただきたいという意味で掲載をしております。

松坂市のように必ず事務局員を雇って経費を見てというような形では考えていない文書というふうにご理解をしていただければというふうに思います。吉田委員どうぞ。

○委員（吉田和子君） まず1つ確認です。2ページの住民協議会設立の経緯について、地方の自主性、自立性が求められる時代。この自立のりつは、「立つ」ほうですか。松坂市のほうは「律する」ほうだったのですけれどもどちらなのか。住民協議会の設立（1）のその下に「地方の自主性と自立性が求められる時代に」ということの自立は、松坂市の「自律」は「律する」ほうの「律」になっていたのですけれども、委員長報告だからどちらがいいのかわからないです。意味は通じることなのでどちらなのかとちょっとそれ思っただけです。

それと同じ2ページなのだけど、松坂市が少子高齢化、各家族化、それから人材不足等の課題を背景にしていることで、本当にそのように言っていました。

もう一つは厳しい経済情勢ということも入っていて、白老とマッチするのかなとちょっと思っただけです。そういうことでお金の出し方も交付税にしたり、企業の応援を得たりとかとしてやっていますので、これ白老町においてもその財政の厳しい中での町民の自主自立がどのようになっていくのかということもあると思うので、ちょっと厳しい財源、しつこいかなど。後ろにもあったような気がしたので、委員会からの意見の中にもあったのですが。財政が厳しい中というのが確かあったので、ここで「財源問題、行政の支援体制、人材など課題が山積みしている」というのは白老の情勢なので、松坂も財源情勢が厳しいというのは説明の中にあっただけなので、そこまで書かなくていいかどうかわかりませんが、それが1つどうなのかなというふうに思いました。

○委員長（小西秀延君） 2点目について松坂の厳しい経済状況、これは松坂市のほうにも言えることであるので、これは委員おっしゃるとおり入れてもいいのかなというふうに思います。もう1点の自主自立、松坂のほうの「律」が違ったということで、私ちょっとそこまで意識していなかったのですが、今ちょっと確認をしているのですが、「律」だと政策的な「律」になるのかなというニュアンスを私もっているのですが。

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時24分

再開 午後 1時27分

○委員長（小西秀延君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

こちらの部分では松坂市さんの住民協議会設立のことを説明させていただいておりますので、そちらのほうで「律する」という字を使っているということでございますので、訂正をしていただきまして「律する」という字の「自律性」という文言に変えさせていただきたいと思いません。

ほかございますか。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 「財政が厳しい」というのは入れますか。

○委員長（小西秀延君） 委員皆様に反対論がなければそこも確認はしますけれども。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 表記の問題なのだけでも3ページの事務人件費③、人口比率に応じ、その次のところを読むと、何て読むのだろうと思ってびっくりしてしまいました。このような表記はないだろうなど。どのような表記がいいのだろうと思ったら、48万、60万、72万と「万」をつけたらいいのではないかと思います。そうすると読み間違いはないと思います。

○委員長（小西秀延君） 簡略化しようということで私もちょっと誤解を招くかなと思ったのですがこのような書き方をしてしまっておりました。これ全部「万円」を追加させていただきます。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 前のほうは「円」いらぬのではないですか。48万、60万、72万円と。○委員長（小西秀延君） よろしいですか。どうせつけるのなら全部つけたほうがいいのではないですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） 討論、意見、両方ともですが、両方視察させていただきましてやっぱり財源と博物館等では主体が国と県と違うということで、本当に明確にこういうふうにしていいというふうにはなかなかない現状があるので、表現に非常に私も苦慮したのですが、実際にこういうやり方をしているところがあると。それもきちんと頭に入れて参考として今後の白老町の行政に生かしてほしいというようなまとめ方にとどめております。どうしてもまちの規模、そして主体が違うなどの理由があるとなかなかえてして一緒に比べれて具体的な意見にならないということもございますが、それがご理解をいただければなというふうに思っているところでございます。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 確かに県立の博物館をそのまま国立の博物館に当てはめるということは無茶だし、地元の博物館だったらやっぱり周りの町民だとか道民の意見で成り立つという基本があるので。全く性格の違うものも同律に並べて論じるのはちょっと無理だろうなというふうに思いながらこう読んでいるのたけども、基本的にはそういう地元や県民の意見も土台にするのだということがなければ国立といえどもやっぱりだめだろうという意味では、その考

え方でいいのではないかなという気はするのです。

それともう1つは前のほうのまとめが組織問題と財政問題、2つに分けてまとめています。財政問題などもかかるものは財政難だから貧しく小さくやりましょうではなくて、かかるものはかけながらいいものつくっていくという方向というのは大事だろうなというふうに思って、金のかかるものはかけるといってまとめでいいのではないかなという気がするのです。これでいいのかなと思います。

○委員長（小西秀延君） ありがとうございます。ほかにご意見ございますか。本間委員。

○委員（本間広朗君） 確認なのですが3ページです。2行目の平成23年度には小学校単位の住民協議会、これは小学校単位でもいいと思うのですけれども小学校区単位にしたほうがいいのかなと、また下のほうにももう1個、おおむね小学校単位と出てくるので、皆さんの意見がよければ。そこだけです。

○委員長（小西秀延君） ご指摘いただいたとおりかなと思います。皆さんここに「区」を入れるという修正でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） ほかございますでしょうか。吉田委員。

○委員（吉田和子君） 本当に委員長ご苦勞されて、特に博物館の最後の委員会からの意見の本当に私たちの思いというのがすごく書かれているなどと思いながら、このようになればいいなどと思いながら、このように書いていいのかなと思ったりして、委員会としての希望であるので、切羽詰まった希望であるので、親しみを持てるということでのボランティアによる解説員の活用や案内の活用など、運営面にまで波及することが望ましいというふうに書かれているのと、アイヌ民族博物館職員が今後整備される博物館の管理運営において、主体的な役割を担うのを強く要望していくことが必要に重要である。本当にそうなってほしいと願う気持ちと、委員会なのでそこまで言っていていいですよ。本当に白老の町民の今の思いというのは、本当にこの博物館ができることは国がやることなのだけれど、それによって町にどんな影響があって、町民がどのようになるのかとか観光と商業がどのように結びついていくのかという、そしていろいろな夢があったりとか希望があったりするのです。本当にこれは議会として委員会としての希望なのですが。

○委員長（小西秀延君） 私としては皆さんから出てきた意見と、視察のときに出していただいた報告書も全部読ませていただきまして、前段の部分は強く吉田委員が主張されていた部分、本当に私もそうだなと思ってこういう部分も掲載をさせていただきました。そして皆さんからの意見出しで、やはり職員さんやこのまちに波及する効果をどういうふうにかちんと整えるかなど多岐にわたった意見も出ました。町も意見を吸い上げるという体制でいますので、町民もこう思っているのだと、議会もこう思っているのだということ国に伝えられる材料にも、私はなるのかなというふうに考えておりますので、皆さんからご理解がいただければできるだけこういうものには反映したほうがいいなというふうに考えて書かせていただきました。ほかに

もあればまだ皆さんからご意見にいただきたいと思います。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 最後のページの段落の下から2つ目のところのアイヌ民族博物館の職員の問題で、博物館の管理運営に主体的に参加せよとこうとなっている、ここの主体的って何だろうとちょっと意味がつかめなかった。自分たちの立場や思いを直に反映させる事ができるそういう主体性、やる相手が国で国が必要と思った場合にそういう博物館の職員を有効に使わなければならないという立場に立つわけです。それを主体的に、主体的な役割を担わせろという言い方というのはどういうふうに解釈したらいいのか私ちょっとわからないのです。これはこのまま素直に読めばわかる、大体こういうことだろうなということはあるのだけれども、読んでいて「主体的」とは何だろうと。

○委員長（小西秀延君） 私たちが視察に行った国立博物館等でも、いわゆる独立行政法人が主体的な運営をしておりました。そこはやはり国が主体的に運営をしているというのが通常の国立博物館であり、そこの中には県やその市の職員さんが何名か入っているというところもありましたが、ほとんどが国主導でやっているのが、運営面でも指導でやっているのが国立博物館であるというのは、これは調査やってもう明らかになっているところであると思います。

ただ今回できる象徴空間における博物館構想の中では、今ある博物館が「私たち人類の共生」といったら幅がもっと大きくなってしまふのかもしれませんが、「民族の共生」という命題のもとで成り立っていくためには、一般的な独立行政法人が主体になって管理運営する博物館ではなく、少数民族であるアイヌ民族の方々が運営してきた現在の博物館、これが主体性を持って活動できるとことがやはりきちんとした体制を持って整えられること。これが1番必要なことではないかなというふうに感じております。そういう意見も委員の中から出ておりました。そういう意味でこのような文言にさせてもらっておりますが、なかなかわかりづらいという確かに斎藤委員のご指摘のところもございます。ただこれがこういうふうにしると具体的にするとするのはまた難しいところもあるのか。例えば独立行政法人の下にある組織をつくらせろとか、中に組み込むのだとか、そこまで意見として私は踏み込むべきではないなと思いこのような表現にさせていただいております。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 理解はしたのですが、管理運営においてはという言葉の前にあるのです。ここは国立としての管理運営というものと、それから今委員長が言った民族的な意味合い、そういうものを含めて言った場合に、これは地元の意見や何かアイヌが主体にならなければやっていけないわけですから全くそのとおりだけでも、管理とそういう民族との違いというのは出てくるわけです。我々が要求するのは管理の部分ではなくて、民族的なものを地元のそういう実態を生かしながらやっていけという意味になるわけです。そうするとちょっとこれ言葉が足りなくて管理運営において主体的にとったら言葉が足りないなと。ここに1つ先ほど委員長が言ったその部分の言葉をもうちょっとここに挟んだほうが間違いはないのではという気がしたのです。

○委員長（小西秀延君） 私も書き方においては非常にここ難しいところだなと思っています。

整備をするのはこれは国が主体となってやるというのはもう決まったことですので、主体という言葉はここで使えないなということになります。主体でないのであればやはり管理運営が博物館としてできることの最上級といったらおかしいですが、最も適する役割なのではないかなというふうなニュアンスで私は捉えていました。これほかの言葉でも私はいいいのです。斎藤委員。

○委員（斎藤征信君） 管理運営では今の酌め尽くせないのではないかなという気がするのです。

○委員長（小西秀延君） うまく言える言葉があれば、ここはもっといい言葉に変えてもらっても私も結構だと思っております。その辺もう少しご意見があれば。吉田委員。

○委員（吉田和子君） 私もすごくいい言葉が浮かぶ人間ではないのですが、やっぱり博物館の構想が白老ということに決まって全て設計も全部国がやってくるということで、私たちはどちらかというと見ているというか、どうなるのだろうとか、決まったことが知らされるだけでした。できる目的は何なのだろうというときに、民族共生のアイヌ文化をきちんと伝承していくということですね。そういった目的からもそこに長年その歴史をきちっと携えてやってきた経験豊かな人たちのノウハウが、くどいのだけれどそういう意味の目的が何かと。整備は もちろんそちらのほうでつくってくれるのだけれどその運営に関して、やっぱりその中にいかに入れてもらうかということが必要だから。その目的達成のためには絶対必要なのではないかということ意見を意見として述べたらどうなのかと思ったのですが、整備とか運営に全部かかわるといってではなくて、目的からしたら今の人材が必要なのではないかということ、きちっとその人たちを取り込んでやっていくべきではないかとか、そのような言葉にしては弱いかな。重要な役割を果たしていくべきと思うのです。人材として重要な役割を果たせる人たちです。

○委員長（小西秀延君） 暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時45分

再開 午後 1時59分

○委員長（小西秀延君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

アイヌ民族博物館の職員さんの今後整備される博物館の運営管理において、主体的な役割を担うよう強く要望していくことが非常に重要であるという一文でいろんな質疑等ございましたが、ここは気持ちを強く持って主体的な役割をきちんと博物館現職員が担っていくのだという気持ちのあらわれにしたいということで、このような表現をそのまま使わせていただきたいということでご理解いただいたということによろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） ほかにあれば。本間委員。

○委員（本間広朗君） 今の前のところですか。アイヌ民族博物館職員が今後整備され、何かこれでいいのですか。職員が今後整備されて、職員が、アイヌ博物館職員の、職員が整備される。

文章的にこれでいいのですか。

○委員長（小西秀延君） アイヌ民族博物館職員が、「、」でお願いします。それと「今後整備される博物館の」とつながっていきます。ほかなければ。これをもって正式なものにつくり直し3月定例に報告をさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（小西秀延君） それではそのような手配にさせていただきます。

一度整理したものを間違いないかもう一度皆さんのところにはお配りいたしますので、定例会前にここ直したところなおっていないとかありましたら、私のほうに中身については今皆さんからご了承いただけますのでそういうところかなければ、このまま報告をさせていただきたいと思います。

次引き続きまして、委員会協議会の開催についてでございますが、(仮称)白老町保育事業運営計画(素案)について3月定例会中に開催希望ということで、これは子ども課から上がってきております。ちょっとこの件に関しましては3月議会のスケジュールもかんがみまして、中身も担当課と話して3月議会中でいいのかどうか、また時期もかねて委員長のほうにお任せをいただいて皆さんに改めてご案内をするという形をとりたいと思いますがよろしいでしょうか。吉田委員。

○委員（吉田和子君） 1回委員会協議会で素案についての説明がありました。大体素案がまとまったということでの報告になるかですか、それともまた何か意見を聞きたいということの協議会になるのですか。3月定例会で実際に質問しようと思っていたのです。

○委員長（小西秀延君） 私もあまり詳しく聞いていないのですが、3月定例会にこの提案がかかってきまして実質予算組みもこれされてくるものだというふうに思っています。その辺でこういう形になってきましたというところが説明されるのかなというふうな理解でおりますが、まだ何も聞いていませんのでお答えができないのですが、ご質問するなイミングもありますよね。ただちょっと定例会中の委員会というのもちょっと異例かなというのも出てくるのです。岡村事務局長。

○事務局長（岡村幸男君） 今吉田委員が言われているということがあれば委員会協議会として聞くということも、ちょっと考えなければならぬ部分かなと。例えば質問が終わったあとにきちんと説明するとか、そういうようなことでなければちょっと難しいなといった感じがします。

私が聞いている範囲ではこの計画の主要な部分でいうと、萩野と虎杖の保育所のいわゆる統合の関係だとか民間ですとか、そういう考え方をきちっとこの計画の中で出すということのようなのです。だからそれは今年度中に出すということでこれまで教育長の教育行政執行方針の中でも言ってきているので、この3月までにはこの考え方をきちんと出したいと。そういうことのように聞いています。統合だとかそちらのほうはかぶる可能性があります。

○委員長（小西秀延君） 暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時06分

再開 午後 2時08分

○委員長（小西秀延君） 休憩を閉じて会議を再開いたします。

ちょっと深いあと、+中身のこともありますので、詳しくは担当課とお話をして定例会間近ですので、その提案についてはどういう中身なのかという私のほうで吟味させていただいて、本当に委員会でいいのか、大きな計画にかかわることであれば、全員協議会までもいいのか判断しないといけないと思いますので、ちょっと私のほうにご一任をいただいて、皆様にご報告を改めてさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。それでは本日の調査事項2件を終了させていただきます。

ほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎閉会の宣言

○委員長（小西秀延君） それでは以上をもちまして、総務文教常任委員会を開会させていただきます。お疲れさまでございました。

（午後 2時10分）